

講座①

18:00~19:30

11/2
(金)システム生体工学科 石川 保幸 准教授
脳の不思議 —記憶のメカニズム—

講座②

18:00~19:30

11/16
(金)総合デザイン工学科 江本 間夫 准教授
くらしの移動をデザインする
—自動車を取巻く環境変化と個人の移動の課題など—

講座③

18:00~19:30

11/30
(金)筑波大学 大津 厳生 准教授
微生物の働きに感謝
—私たちの生活に必須な硫黄が果たす役割—

講座④

13:30~16:40

12/1
(土)建築学科 石川 恒夫 教授
建築学科 三田村輝章 准教授
建築学科 遠野 未来 非常勤講師版築：土がどんどん壁になる since 2012
—建築学科の実習授業の成果と展望—

講座⑤

18:00~19:30

12/7
(金)生命情報学科 優 乙石 准教授
スーパーコンピュータが解明する細胞の世界
—原子レベルの景色を見よう—

講座⑥

18:00~19:30

12/10
(月)社会環境工学科 舌間孝一郎 准教授
長持ちするコンクリート構造物をつくる
—コンクリートの寿命を延ばす群馬県の試み—

公開講座

参加無料
定員
各60名

申込方法

各開催日の8日前までに、〒住所・氏名・電話番号・ご希望の講座番号を記入し、Eメール、ハガキ又はFAXで、お申し込みください。

申込先

〒371-0816 前橋市上佐鳥町460-1 前橋工科大学「公開講座係」
TEL: 027-265-7361 FAX: 027-265-3837
Eメール: chiiki@maebashi-it.ac.jp

会場

前橋工科大学 1号館1階多目的ホール
(前橋市上佐鳥町460-1)

主催

前橋工科大学

後援

前橋工科大学同窓会 前橋工科大学後援会

連携

ぐんま県民カレッジ連携講座



講座① 脳の不思議

－記憶のメカニズム－

システム生体工学科 石川 保幸 准教授

「21世紀は脳の世紀である」と言われています。最近では脳年齢、脳トレといったことをしばしば耳にすることもあるかと思います。この「脳」によって私たちは様々な情報を瞬時に処理、理解し行動をおこすことができます。しかしながら、「脳」について私たちが知っていることは意外に少ないのです。今回、脳科学研究の最新の知見、特に記憶の不思議について、また我々の取り組んでいる研究についてもお話ししたいと思います。

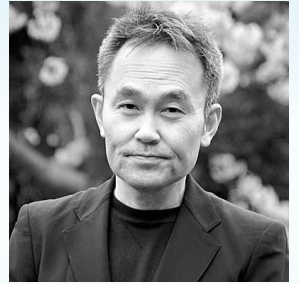


講座② 暮らしの移動をデザインする

－自動車を取巻く環境変化と個人の移動の課題など－

総合デザイン工学科 江本 聞夫 准教授

「電動化」「知能化」「情報化」の3つの大きな流れによって自動車を取巻く環境が急速に変化しています。電気自動車はどんな形になるのか？自動運転は実用化されるのか？どんな使い方が予想されるのか？個人の移動の課題に対する解決策は？プロダクトデザインの観点から紹介します。

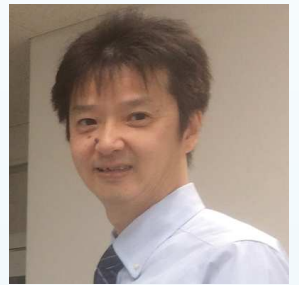


講座③ 微生物の働きに感謝

－私たちの生活に必須な硫黄が果たす役割－

筑波大学 大津 巖生 准教授

ヒトを含む動物は決して産生できない有機性硫黄化合物（含硫アミノ酸：メチオニンなど）は、必須であり、食事を通して摂取しなければなりません。それを合成できる微生物・植物に完全に依存している事実。これら硫黄化合物は全生物に含まれ、その硫黄の状態を分析するだけで酸化度を見ることができます。そのような技術で今後の未来がどうなっていくのか考える場を提供します。



講座④ 版築：土がどんどん壁になる

－建築学科の実習授業の成果と展望－

建築学科 石川 恒夫 教授、三田村 輝章 准教授、遠野 未来 非常勤講師

版築とは、土を固めて壁や床をつくり、建物を構築するという、単純で原始的な建設方法です。2012年から建築学科の「建築設計ワークショップ」の実習授業で制作してきた版築によるベンチ/あずまの建築的・教育的成果と、活用するための今後の課題をお話します。さらに自然素材としての土の存在理由を踏まえ、持続可能な21世紀の建築の在りかたを示します。

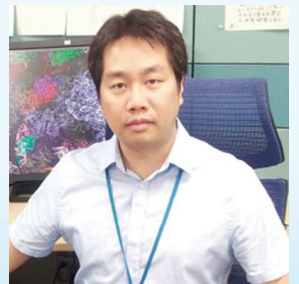


講座⑤ スーパーコンピュータが解明する細胞の世界

－原子レベルの景色を見よう－

生命情報学科 優 乙石 准教授

わたしたちの細胞の中は、タンパク質やDNAなど沢山の分子がごったがえしており、まるで満員のプールのような状態です。そのような混雑した環境で分子たちがいかに運動し、働いているかは生命科学の大きな問いです。最新のスーパーコンピュータによる原子レベルのシミュレーションが、どのように細胞の世界を解明しつつあるかを紹介します。



講座⑥ 長持ちするコンクリート構造物をつくる

－コンクリートの寿命を延ばす群馬県の試み－

社会環境工学科 舌間 孝一郎 准教授

我々の生活はコンクリートに支えられています。コンクリートは、「強い」「長持ち」「安い」ことを期待されてインフラに用いられてきました。ただ、その特徴が「当たり前ではない」ことは意外に理解されていません。近年、昔のコンクリート構造物が想定よりも早く寿命を迎え始めています。これからの取り組みを紹介します。

